

「多文化」「多文化都市八戸」の用語使用についての意見回答結果

回答	意見内容
使用する	<p>●「多文化」とした意味を表現できるのであれば、「使用する」で問題ないのではと思います。(たとえば、サブタイトルを付け加えとか。)</p> <p>私が一般公募としてこの委員会の応募した際には「多文化」について注釈が添えられていたのと、事前の説明もありましたので、特に違和感を感じることはありませんでしたし、なにか特別な思いがあって、あえて「多文化」とした理由があるのではないかと考えていました。</p> <p>沢山のひとにわかりやすくという意味では、「多文化」→「文化」とするのがいいのかもしれませんが、用語変更に伴い、これまでの記述と混在してしまうのであれば、かえって誤解や、わかりにくさを生むのではないかと考えます。</p> <p>●「多文化」の名称について、はじめは私も違和感を感じましたが、会議をすすめていくなかで、特にこれでもいいのかな、と思いました。なにか別の文言がありましたら教えてください。</p> <p>●たしかに、ご説明の通りだと思います。が、八戸流の「多文化」も、それなりに定着してきていると思います。結論的には、「多文化」文言使用継続に賛成ですが、絶対というわけではありません。みなさんの総意にしがたいです。</p>
使用しない	<p>●多文化、という言葉は非常に誤解を招きやすいので、これまでの会議でも時折意見しましたが、変えたほうが良いと思っています。条例を変えてでも、今後変更したほうが良いと思います。</p> <p>当面、○計画名の変更⇒ 例「八戸市文化芸術推進基本計画」の部分に反映させるということで良いと思います。</p> <p>●当初より懸案事項でもあり、変更するには最後のチャンスですので、「使用しない」が良いと思います。</p> <p>●アドバイザーボードによるご指摘の通り、多文化は、多文化共生や異文化理解、グローバル化への文化保護等のイメージが強い用語で、私も多文化都市八戸推進懇談会を拝命した当時より、内容とのズレを感じてきた用語でした。</p> <p>多文化都市八戸推進懇談会でも、この用語の定義についてたびたび議論されてきたと記憶しております。名称は看板として最も目立つものですし、何より八戸市民への浸透のしやすさ・分かりやすさが重要と思います。地域にある「多種(雑多)」の「文化」を大切にす、より活性化させるというのが趣旨と理解しております。</p> <p>よって、用語は「文化」を使用するのが妥当ではないかと考えます。</p> <p>●個人的には、「カオス八戸」を入れたいです。</p> <p>●長く使用しても、八戸流にはならないと思います。また、八戸流ではなく、普通に全国民が分かるものにするべきだと考えます。こだわることについて、反対です。普通にシンプルにした方がよいのではないのでしょうか。</p>
その他	<p>●再検討いいと思います。結局、ずっと溶け込むような言葉が見出せないでいるわけですよね。</p> <p>私は、「多文化」の再検討に、いまいちど土地の芸術文化にきちんと向き合って考える機会を、小林様の代から託され、その議題をいただいたようでむしろうれしく感じます。</p> <p>あと、少し気になっていたのは、もともと最初に「多文化」を使い始めたという小林眞前市長のいろいろな思いが込められたものと推察します。そして、八戸の芸術文化に多大な実績を残した小林氏は、先日、引退となってしまいました。このタイミングにあっさり「多文化」が無くなるのは、ちょっと心ないとも感じます。</p> <p>また他方で、「多文化」を使い続けるのも一考であり、私は個性を出すことは面白いと思っています。</p>

結果	使用する	3名
	使用しない	7名
	その他	1名
	無回答	3名

計 14名 (内海会長除く)